

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[IPプレフィックスインポートのための BGPサポート](#)

[Policy Based Routing \(PBR \)](#)

[VRF レシーブ](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

概要

グローバル ルーティング テーブル (GRT) およびバーチャルルーティングおよびフォワーディング (VRF) 表間のルート リークはスタティック・ ルートを使用して静かな容易です。 ネクストホップIPアドレスを (マルチアクセス セグメントのために) 提供しましたりまたはインターフェイス (ポイント ツー ポイントインターフェイス) からルートを指します。

ただし、マルチアクセス セグメントのネクストホップIPアドレスがない時、ルート リークはスタティック ルートを使用できないので厄介になります。 この資料はそのようなシナリオのルート リークを達成するために代替および簡単なアプローチを説明します。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解している必要があります。

- 基本的な IP ルーティング。
- OSPF ルーティング プロトコルの概念と条件

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

設定

ネットワーク図

続くイメージは資料の他のためにサンプルトポロジとして使用されます。

IPプレフィックス インポートのための BGPサポート

グローバルな IPv4 ユニキャストかマルチキャスト プレフィックスは IPアクセスリストまたは Ip prefix-list のような標準 Cisco フィルタリング メカニズムを使用してインポート ルート ルートマップのための一致条件と定義されます。

```
access-list 50 permit 10.10.1.0 0.0.0.255
or
ip prefix-list GLOBAL permit 10.10.1.0/24
```

インポートのために定義される IP プレフィックスはルート マップの一致句を通してそれから処理されます。パススルーが VRF にルート マップ インポートされること IP プレフィックス。

```
route-map GLOBAL_TO_VRF permit 10
match ip address 50
or
match ip address prefix-list GLOBAL
!
ip vrf RED
rd 1:1
import ipv4 unicast mapGLOBAL_TO_VRF
!
ip route 10.10.3.0 255.255.255.0 Vlan900
```

この方式はすべての シナリオで実行可能ではないかもしれない VRF ライトの BGP を使用して必要となります。

Policy Based Routing (PBR)

PBR が GRT と VRF 間のルーティングを漏出するのに使用することができます。 以下はグローバル ルーティング テーブルから VRF にルートを漏出している設定 例です:

```
ip vrf RED
rd 1:1
!
interface Vlan100
description GLOBAL_INTERFACE
ip address 10.10.1.254 255.255.255.0
!
access-list 101 permit ip 10.10.3.0 0.0.0.255 10.10.1.0 0.0.0.255
!
route-map VRF_TO_GLOBAL permit 10
match ip address 101
set global
!
interface Vlan900
description VRF_RED
ip vrf forwarding RED
ip address 10.10.3.254 255.255.255.0
ip policy route-map VRF_TO_GLOBAL
```

これは 6500 スイッチのようなハイ エンド デバイスでうまく作動しますが、3750 のようなデバイスのために、サポートされません。 それはエラーメッセージをのような次のように表示できるようにプラットフォーム 制限です:

```
3750X(config)#int vlan 900
3750X(config-if)#ip policy route-map VRF_TO_GLOBAL
3750X(config-if)#
```

```
Mar 30 02:02:48.758: %PLATFORM_PBR-3-UNSUPPORTED_RMAP: Route-map VRF_TO_GLOBAL not supported for
Policy-Based Routing
```

VRF レシーブ

VRF ルーティング テーブルで VRF レシーブ 機能が接続ルータ エントリとして接続された GRT サブネットを挿入するのに使用することができます。

```
ip vrf RED
 rd 1:1
!
interface Vlan100
 description GLOBAL_INTERFACE
ip vrf select source
ip vrf receive RED
 ip address 10.10.1.254 255.255.255.0
end
!
interface Vlan900
 description VRF_RED
 ip vrf forwarding RED
 ip address 10.10.3.254 255.255.255.0
end
!ip route 10.10.3.0 255.255.255.0 Vlan900
```

```
3750X#show ip route vrf RED
```

```
Routing Table: RED
```

```
Gateway of last resort is not set
```

```
10.0.0.0/8 is variably subnetted, 4 subnets, 2 masks
C    10.10.3.0/24 is directly connected, Vlan900
L    10.10.3.254/32 is directly connected, Vlan900
C    10.10.1.0/24 is directly connected, Vlan100
L    10.10.1.254/32 is directly connected, Vlan100
```

```
3750X#ping 10.10.3.1 source vlan 100
```

```
Type escape sequence to abort.
```

```
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.10.3.1, timeout is 2 seconds:
```

```
Packet sent with a source address of 10.10.1.254
```

```
!!!!!
```

```
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/4/9 ms
```

```
3750X#show ip arp vrf RED vlan 900
```

Protocol	Address	Age (min)	Hardware Addr	Type	Interface
Internet	10.10.3.254	-	d072.dc36.7fc2	ARPA	Vlan900
Internet	10.10.3.1	0	c84c.751f.26f0	ARPA	Vlan900